

講義コード	1342	科目区分	スポーツ健康福祉専攻
(フリガナ)	ヤガイカツドウⅢ(トザン・キャンプ)	(フリガナ)	クニキタカハル/オカザキユウスケ/イガワタカヒロ/ニシヒロフミ
授業科目名	野外活動Ⅲ(登山・キャンプ)	担当教員名	國木孝治/岡崎祐介/井川貴裕/西博史
英文授業科目名	Outdoor Education (Climbing and Camping)		
基準年次(開講期)	3年生(前期)	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	夏季集中(2泊3日)		
授業の方法	演習	授業の方法(詳細情報)	演習中心
単位	2	週時間	
授業のキーワード	登山、キャンピング、トレッキング、オリエンテーリング、沢登り、自然観察、応急処置法、野外活動、洞窟探検、火おこし、野外炊飯、キャンプクラフト(竹食器づくり)		
授業概要・目的	<p>現学習指導要領では、生きる力を育む理念のもと、体験的な学習活動を積極的に取り入れることが求められている。体験活動の具体例としては、自然の偉大さや美しさに出会ったり、その中で友達と関わったりしながら協同的に学ぶ自然体験活動が挙げられる。なお、現在の児童・生徒を取り巻く社会環境の中では、自然の中での遊び体験が不足しており、登山やキャンプなどの実施が奨励されている。</p> <p>本授業は、春～秋季シーズンの野外活動として登山・キャンプを取り上げ、大自然の中で基礎的な知識や技術を学習し、生涯にわたり年齢・体力に応じた登山・キャンプ及び野外実習の楽しみ方を養うことを第1の目的としている。そして第2に、将来教員や野外活動指導者を目指す学生が、多様な自然体験活動(登山キャンプ)を実践する中で、教員や野外活動指導者に必要な自然や野外での活動のあり方を体験的に学び、その知識と技能を獲得することを目的とする。</p> <p>なお、3年生から4年生までの全専攻学生の受講が可能であるため、例えば、4年生時における受講では、これまでの学習経験を総合して「総合的能力・技能」を獲得する可能性も学習の成果として期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年自然の家施設の活用して集中的に行う。 ・授業は事前学習(学内)、本学習(学外学習)、事後学習の3部で構成される。 		
到達度評価の評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で行われる活動の計画方法や健康管理を理解し、安全に実施することができる。 ・自然体験活動の基礎的な知識や技術を学習し、生涯にわたり年齢・体力に応じた登山・キャンプ及び野外活動の楽しみ方を養うことができる。 ・マナーや協調性などの社会的スキルを身につけることができる。 ・登山・キャンプに参加する年齢・体力に応じた指導方法を身に付けることができる。 ・登山・キャンプ地における応急処置法に関する知識・技術が習得できる。 		
授業計画			
第1回	ガイダンスおよび事前学習 野外活動の教育的意義。キャンプ用具の使用法とテント技術。役割分担と準備		
第2回	野外基礎実践① キャンプクラフト(竹を使った食器づくり)		
第3回	野外活動基礎実践② 野外炊飯の計画と実践		
第4回	野外活動基礎実践③ テント・タープの張り方		
第5回	野外活動基礎理論・実技① 応急処置法：止血法、脱臼や骨折の処置法、蛇咬症、ほか		
第6回	野外活動基礎実践④ 環境教育プログラム：山野の樹木・野草観察		
第7回	野外活動基礎実践⑤ 登山・トレッキング		
第8回	野外活動基礎実践⑥ 沢登り・水源探し		
第9回	野外活動基礎実践⑦ 環境教育プログラム：夜の星座観察		
第10回	野外応用理論・実技② 救急処置法：保温、運搬法、心肺蘇生法		
第11回	野外応用理論・実技③ ロープワーク・テクニク		
第12回	野外活動応用実践① 環境教育アクティビティ：オリエンテーリングの企画と運営		
第13回	野外活動応用実践② 環境教育アクティビティ：キャンプファイヤーの企画と運営		
第14回	野外活動応用実践③ 環境教育アクティビティ：アドベンチャープログラムの企画と運営		
第15回	事後学習 実習報告書、実習レポートの作成		
教科書・参考書等	テキストはないが、説明会で配布する資料を熟読しておくこと。		
授業で使用する機器等	野外宿泊器具一式、野外炊飯器具一式、リトルアン、AEDトレーナー、応急処置トレーニングキット、ロープ、軍手、ナイフ、鉈、ほか		
予習・復習へのアドバイス	登山・キャンプ、ロープワーク、野外活動についての教本などを読んでおくこと。		
履修上の注意・受講条件等	本授業は、宿泊を伴う3日間の登山・キャンプ演習からなるため、悪天候・海況によっては授業内容が大きく変更する可能性がある。		
成績評価の基準等	授業に対する取り組み方(80%)、実習レポートなど(20%)から総合評価する。		
メッセージ	生涯活動として、自然体験活動指導者として、或いは親が子に伝える野外活動の1つとして、体験を通して登山・キャンプの知識や技術を身につけてみませんか？ 専攻問わず、たくさんの履修をお待ちしています。なお、本授業は学外施設を利用のため、8,000円程度の個人負担が必要となります。		
オフィス・アワー	各期オフィス・アワー時に國木孝治研究室(7号館:726)にて対応する。		
その他	学生の希望があれば、本授業を履修することで、(財)日本ライフセービング協会認定「BLS(CPR+AED)資格の発行(別途有料)、或いは「ライフセービング・サポーター」の修了証(無料)を発行します。		